

# 第7回 がんの治療と就労 両立支援

～がんになっても仕事を続けるために～

平成28年2月21日、ソリッドスクエア地下ホール（神奈川県川崎市）において、勤労者医療フォーラム「第7回がんの治療と就労 両立支援」を開催しました。第7回目となる今回は『がんになっても仕事を続けるために』をテーマに、基調講演、事例発表、パネルディスカッションが行われました。

当日は、がん治療に携わる医療関係者の方や、がん患者ご本人又はそのご家族の方など、多くの方々にご参加いただきました。



【基調講演の様子】

（写真）東京労災病院 勤労者メンタルヘルズ研究センター長・両立支援部長 小山文彦氏

## 【フォーラム参加者】

199名（女性：59名、男性42名）

## 【アンケート回収率】

67.3%（配布150名、回収101名）

## 【満足度】

- \* フォーラム全体：61.3%
- \* 基調講演：76.0%
- \* 事例発表：63.5%
- \* パネルディスカッション：51.3%

## \*\*\*\*\* 参加者の声 \*\*\*\*\*

<50代女性>

復職コーディネーターという仕事があるということを世間に広めて欲しいと思った。主治医から企業の管理者への情報提供はまだまだ未発展の分野だと思った。

<30代女性>

貴重な話を伺うことができた。がんの治療と就労両立支援にはまだいろいろな課題があると認識した。

<30代男性>

これからの就労支援を院内で充実させていくための良いヒントをもらうことができた。



【事例発表の様子】

（写真）関西労災病院MSW社会福祉士（復職コーディネーター）平田直子氏



【パネルディスカッションの様子】